

アミロイド疾患病態メカニズム研究会

日時：12月9日(水) 13:20 – 17:00、10日(木) 9:15 – 15:40
場所：大阪大学蛋白質研究所 1 階講堂

参加費：無料
参加登録不要
懇親会は登録制
(有料)

12月9日 (水)

開会の挨拶	13:20 - 13:30
河田 康志 (大阪大学大学院工学研究科) 蛋白質の構造形成とアミロイド線維形成	13:30 - 14:00
池中 建介 (大阪大学大学院医学系研究科) Polyamines Define Regional Vulnerability for α -Synuclein Aggregation Through C-Terminal Interactions	14:00 - 14:30
溝端 知宏 (鳥取大学工学部) 大腸菌ペリプラズム由来分子シャペロンHdeA, HdeBのpH依存アミロイド線維反応	14:30 - 15:00
休憩	
堂本 裕加子 (日本医科大学医学部) ALアミロイドーシスと軽鎖沈着症における軽鎖沈着様式の比較 ：プロテオーム解析を用いた検討	15:30 - 16:00
菅瀬 謙治 (京都大学大学院農学研究科) ATPによるタンパク質凝集の抑制機構	16:00 - 16:30
田崎 雅義 (熊本大学大学院生命科学研究部) 臨床プロテオーム解析から学ぶアミロイドーシス	16:30 - 17:00

懇親会 (登録制) 19:00 - @新大阪 登録はこちら(11/30締切)



12月10日 (木)

村上 一馬 (京都大学大学院農学研究科) アミロイド蛋白質を標的とする RNA アプタマー創薬 ~ From Gacha to Gotcha! ~	9:15 - 9:45
小野 賢二郎 (金沢大学医薬保健研究域) 蛋白凝集の観点から神経疾患の混合病態を考える	9:45 - 10:15
野村 高志 (理化学研究所脳神経科学研究センター) アミロイド構造と細胞表現系の相関解析	10:15 - 10:45
休憩	
上村 紀仁 (大阪公立大学大学院医学研究科) レビー小体病 α シヌクレイン線維増幅法開発	11:00 - 11:30
松木 陽 (大阪大学蛋白質研究所) α シヌクレイン液滴・線維の細胞内・脳内追跡	11:30 - 12:00
村上 智亮 (東京農工大学農学部) 自然発症動物モデルが拓くアミロイドーシス研究	12:00 - 12:30
昼食	
遠藤 仁 (慶応義塾大学医学部) トランスサイレチン心アミロイドーシスの病態メカニズムの解明	14:00 - 14:30
穴田 貴久 (九州大学先端物質化学研究所) ミトコンドリア活性化能を有するATPプロドラッグの開発	14:30 - 15:00
宗 正智 (京都大学大学院農学研究科) アミロイド線維形成過程の部位特異的速度論解析	15:00 - 15:30
閉会の挨拶	15:30 - 15:40

